



第 42 回水素エネルギー協会 (HESS) 大会

第 42 回水素エネルギー協会大会実行委員長
芝浦工業大学 教授 野村幹弘

現在、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続いている。これに伴い、様々な面でエネルギー問題も注目を集めています。ロシアは、原油、天然ガスなどのエネルギー輸出国であり、今後のエネルギー供給に関しては、世界的にも不安定になることが予想されます。このような状況の中でも、長期的には、水素エネルギーを中心とした、再生可能エネルギーへの道は必須です。エネルギー資源をもたない国である日本では、世界情勢に左右されずに粛々と技術を磨いていくべきでしょう。

一方、国内の状況を見ると、少しずつではあるが with コロナの時代になってきています。ただ、まだ、コロナ前の社会に完全に戻る状況ではないように感じられます。11 月末に開催予定の第 42 回水素エネルギー協会大会は、昨年度と同様に電解技術討論会との合同 web 討論会として開催することを計画しています。開催方法も、昨年同様、タワーホール船堀会場と web 会場参加者とを繋いだハイブリッド方式の予定です。大会開催時のコロナの状況は予想できませんが、オンライン参加者と現地参加者を繋ぎ、実りある議論ができる場を提供したいと思います。また、昨年度開催した現地での名刺交換会など、コロナ禍のもとで、出来る最大限の交流を企画予定です。水素エネルギー技術に関する発表・討論へのご参加をぜひお待ちしております。本大会では、本会会員や協賛学会の会員だけでなく、多くの方からの研究発表とご参加をお待ちしています。

■会 期： 2022 年 11 月 28 日 (月)、29 日 (火)

■会 場： タワーホール船堀小ホール (東京都江戸川区船堀 4-1-1)、オンラインによるハイブリッド開催

■主 催： (一社) 水素エネルギー協会 (HESS : Hydrogen Energy Systems Society of Japan)

■内 容： 研究論文発表 (全て口頭発表)、懇親会 (初日プログラム終了後、実施方法等は検討中)

■参加登録費：(発表者、聴講者共通) ※電解：(公社) 電気化学会 電解科学技術委員会 (単位：円)

	HESS 会員 (不課税)		電解・協賛 (内税)		非会員 (内税)	
	法人・個人	学生	会員	学生	一般	学生
事前参加登録 (11/4 まで)	8,000	2,000	8,800	2,200	16,500	3,300
11/5 以降申込、当日参加	10,000	3,000	11,000	3,300	18,700	4,400

- ・参加登録により「第 46 回電解技術討論会 -ソーダ工業技術討論会- (11/17、11/18)」「第 42 回水素エネルギー協会大会 (11/28、11/29)」「2022HESS 特別講演会 (11/30)」全てにご参加いただけます。※懇親会開催の場合別途申込
- ・会議室等にて複数名でオンライン参加の場合は、個人ごとに参加登録をお願いします。

■参加登録 (聴講) 方法： 事前登録申込締切 11 月 4 日 (金)。

参加登録のほか、プログラムや要旨の閲覧・ダウンロードは全て「2022 合同 WEB 討論会」のサイトで行います。

【2022 合同 WEB 討論会】

(第 46 回電解技術討論会 -ソーダ工業技術討論会-、第 42 回水素エネルギー協会大会、2022 HESS 特別講演会)

主 催： (一社) 水素エネルギー協会、(公社) 電気化学会 電解科学技術委員会

協 賛 (予定を含む)： (公社) 化学工学会、(公社) 自動車技術会、(公社) 石油学会、(公社) 電気化学会、(公社) 日本化学会、(公社) 日本生物工学会、(公社) 電気化学会 溶融塩委員会、(一社) エネルギー・資源学会、(一社) 触媒学会、(一社) 日本エネルギー学会、(一社) 日本機械学会、(一社) 燃料電池開発情報センター、日本ソーダ工業工業会、日本機能水学会

■連絡先： (一社) 水素エネルギー協会 事務局 (担当：米富) E-mail: 2022hess-ecsj@hess.jp

発 表 論 文 募 集

応募要領は、ホームページに掲載します。学生優秀発表賞を表彰します。

【論文発表分野】 製造、貯蔵・輸送、利用、エネルギーネットワーク、政策、その他

【発表申込締切】 9 月 2 日 (金) 【予稿原稿提出締切】 10 月 14 日 (金)